

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会  
ロシア東欧経済研究所

東京都中央区新川-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9  
購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年9月25日

No.967

## 1994年上半期のCIS諸国の経済

### はじめに

CIS統計委員会『統計通報』(1994年 No.25)に1994年上半期のCISの経済実績が発表されたので、ここにそのデータを紹介する。

1994年上半期には、CISの多くの国で生産高の大幅な落ち込みがみられ、卸売物価・消費者物価の上昇がつづいている。ロシア以外の国では、国民の貨幣所得が大幅に増加したものの、消費者物価の上昇率は貨幣所得の上昇率を上回っており、国民生活環境は悪化した。

1994年上半期のCIS全体としての国内総生産は対前年同期比20%減、純物的生産は同23%減であった。また、1994年6月の純物的生産は1993年12月と比較して21%減少した。

1994年上半期の工業総生産はCIS全体で対前年同期比27.6%減と大幅に縮小し、工業部門の卸売物価は9.3倍に上昇した。

1994年6月末現在のCIS全体の失業者数は210万人に達し、前年同期より24%増加した。6月には1月より求人数が増加しているものの、失業者数ははるかに多く、失業問題を解消するにはいたっていない。

1994年上半期のCIS全体の外国貿易(CIS域内取引を除く)では、輸出高は250億ドル、前年同期より20億ドル増加して9%増、輸入は160億ドルで1993年上半期より9億ドル増加し、6%増となった。また、貿易収支は90億ドルの黒字で1993年上半期の78億ドルを上回った。CISの主要貿易相手国はEU、ハンガリー、ポーランド、中国、トルコ、米国、日本である。輸出構成では原燃料が大きなシェアを占め、鉱物製品(石油、天然ガス、石炭など)のシェアは40%以上、機械・設備・輸送機械は10%であった。